

令和7年度厚生労働省委託
「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム導入支援事業」
のご案内

平素より、当センターの活動につきましては、ご理解、ご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、当センターでは、令和2年度以降、厚生労働省委託事業「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム(放射線 MS)導入支援事業」を実施しており、令和7年度におきましても、引き続き実施することとなりました。

本事業では、放射線業務を行う医療機関を対象に、研修及び報告会を開催するとともに、個別支援や相談窓口を通して、放射線 MS を導入・運用する医療機関の拡大を図り、また、医療従事者に対する放射線管理体制の強化(組織的な線量管理と被ばく低減対策の実施)を支援するものです。支援の概要は以下のとおりです。

1. 支援期間

令和7年7月～令和8年2月

2. 支援の概要

①基礎研修【第1回:9月1日、第2回:9月17日、第3回:10月6日開催】

基礎研修では、放射線管理体制の強化を図ることを目的として、放射線 MS の導入・運用を検討されている事業場等を対象として、労働安全と放射線管理の関係や放射線 MS の仕組みの活用方法等について3回に分けて研修を行います。

なお、放射線 MS の導入段階や運用中の事業場の方についてもご参加いただけます。

②専門研修【10月20日開催】

専門研修では、内部監査の知識と知見の習得を考えている事業場や内部監査員の育成を検討している事業場を対象とし、放射線 MS の内部監査の考え方、実施方法等について事例紹介を交えた研修を行います。

③報告会【令和8年2月13日開催】

報告会では、放射線 MS の導入・運用に関する好事例の報告と討論により、放射線 MS の導入・運用によるメリットや、改善及び問題解決等の情報共有を図り、放射線管理体制の強化に資するものとします。

3. 支援方法

オンライン(ZOOM)開催

なお、当日参加できなくても、後日、録画したものを視聴することが可能です。

4. お申込みについて

(1) 申込開始日

令和 7 年 6 月 27 日(金)より申込受付中

(2) 申込期限

①基礎研修:令和 7 年 10 月 31 日(金)

②専門研修:令和 7 年 10 月 31 日(金)

③報告会:令和 8 年 2 月 6 日(金)

(3) 申込方法

事前の参加登録が必要ですので、以下のウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

5. 修了証の発行

基礎研修に参加し、所定の要件を満たした個人及び事業場に対して修了証を発行します。

また、専門研修に参加し、所定の要件を満たした個人のみ修了証を発行します。

6. 生涯教育システムへのカウント付与

公益社団法人日本診療放射線技師会の会員の方が研修に参加して修了されますと、同技師会の生涯教育システムに基づくカウント付与の申請対象となります。

カウント付与を希望される方は、会員番号の登録及び個人宛の修了証が必要となります。

7. 相談窓口の設置

被ばく低減・放射線管理に関する課題解決のために、被ばく低減対策等に関する専門的な相談・助言を行います。

Web サイトの「相談窓口申込み」よりお申込みください。

【お問合せ先・事務局】

公益財団法人原子力安全技術センター 企画総務部 MS 事業係

TEL:(03)3830-0720 (MS 事業係直通)

受付:10:00~12:00 ・ 13:00~17:00

(土・日・祝日・創立記念日(10月10日)及び年末年始を除く)

E-mail:ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp

Web サイト: <https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

X(旧 Twitter)アカウント名: 放射線 MS 事務局 @rad_ms2022



放射線被ばく管理に関する 労働安全衛生マネジメントシステム 導入支援事業のご案内

放射線業務を行う
医療機関必見

もしかして、これって法令違反？
あなたの職場は大丈夫？

※放射線MSとは、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの呼称

改正電離放射線障害防止規則が令和3年4月に施行され、眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が大幅に引き下げられました。放射線MSは、従事者の放射線被ばく低減に対する組織的な取り組みをサポートします。

厚生労働省の第14次労働災害防止計画に「医療機関に対して、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの導入を支援する」と明示されています。

当事業では、研修等(詳細は裏面をご参照ください)をとおして放射線管理体制の強化を支援します。

放射線MSを導入したことによる好事例

- ◆ 研修を受講したスタッフを中心に実務を担当する委員会を設立し、同委員会の協議事項が経営トップに伝わる組織を構築した。
- ◆ トップマネジメント、組織が機能して、院内の放射線管理に係る文化が向上し、線量計の装着や被ばく管理等が他部門の協力を得て実施することができた。
- ◆ 研修で提供されたひな型文書をもとに機関の実情にあわせながら、放射線MS運用に必要な書類等を作成している。

撮影室入口(装着率向上の工夫)



～当事業に参加された方の声～

- ◆ 研修や報告会に参加して、他の施設の事例や普段から疑問に思っていたこと等を聞くことができ、非常に参考になりました。参加してよかったです。
- ◆ 研修受講後、手探りで導入に向け準備を進めていましたが、個別支援にも参加し、直接、自施設の実情をお話しすることで、それに対してのアドバイスや指導を受け、不安や疑問に感じていたことが明確になり、大変有意義な時間となりました。また参加したいです。

※参加者アンケート 放射線MSを導入したい、もしくは導入の検討をしたい : 94.3%
(令和6年度)

当事業の支援内容が放射線MS導入に効果的だと感じた: 97.7%

お申込み

事前の参加登録が必要ですので、右記厚生労働省のウェブサイト「研修等申込み」よりお申込みください。

ウェブサイト

<https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>



X (旧Twitter)

アカウント名: 放射線MS事務局
@rad.ms2022



お問い合わせ | 放射線MS事務局 TEL: 03-3830-0720 (直通) メールアドレス: ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp

放射線被ばく管理マネジメントシステム導入支援 イベント内容

9,10月
開催

基礎研修

第1回

労働安全衛生法と放射線MSの仕組

9月1日(月)
13:00~16:00

第2回

目標、計画の設定

9月17日(水)
13:00~16:00

第3回

監査、改善

10月6日(月)
13:00~16:00

10月
開催

専門研修

内部監査の視点、 計画、実施、報告および 内部監査員の育成 等

初めて参加の方
内部監査の概要と計画

参加経験のある方
監査のPDCAと監査員育成

10月20日(月)

講義
13:00~16:00
演習
16:00~17:30

2月
開催

報告会

放射線MS導入、改善や 運用の好事例の報告と 有識者等による討論

初めて参加の方
放射線MSの取り組み事例

参加経験のある方
放射線MSの改善を学ぶ

2月13日(金)

13:00~16:00

※ 開催1ヶ月前頃にZoomウェビナーへの参加登録のためのご案内をいたします。

7-2月
開催

放射線MS導入に係る進捗相談・問題解決に向けた「個別支援」

当事業では、放射線MS導入に向けた検討または準備を進めている医療機関へ進捗状況をお伺いし、問題解決に向けたアドバイスを行うための個別支援を行っております。

(導入段階や運用中の医療機関も参加歓迎)

放射線MSの知識が豊富で実務的支援が可能な放射線技師等の支援員が対応しますので、お気軽にご参加ください。(オンライン(Zoom)対応・1時間~1時間30分程度を予定)

研修講師
梶木繁之先生



報告会座長
富田博信先生



株式会社 産業保健コンサルティングアルク 代表
一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会
福岡支部副支部長(労働衛生コンサルタント)
産業医科大学 産業衛生教授
TC283 国内審議委員会委員、ISO45001審査員

当事業運営委員会 委員長、個別支援等支援員
公益社団法人日本診療放射線技師会 副会長
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長
帝京大学医療技術学部 診療放射線学科 教授
埼玉県済生会川口総合病院

※ 日本診療放射線技師会の生涯教育システム(カウント付与)対象です。(研修のみ対象)

※ 当日参加できなかった方は、後日、Webサイトで録画映像の視聴での参加が可能です。

※ 国が推進している本研修等の参加をきっかけに、多数の事業場が放射線MSを導入して成果を出しています。

※ 都合により、内容等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。